

視聴票（4）あなたが身のまわりの環境を今そのままにするとどうなるのか？①②

第7回のまとめ（約400字）

第7回では、「あなたは地球のために何ができるか？」という大きな問いを、まず自分の身の回りの生活から考えていく回だった。地球規模の環境問題と言われると、温暖化や海洋汚染などニュースで聞くことはあっても、自分ごととしてはイメージしづらい。でも授業では、ごみ・汚水・フードロス・騒音といった、わたしたちが毎日の生活の中で出しているものが、実は環境を傷つけているかもしれない、という視点からスタートした。家庭から出るプラスチックごみ、食べ残し、水の出しつぶなし、夜遅くまでの大きな音など、「ちょっとしたこと」が積み重なると大きな負担になる、ということに気づかされる。番組の生徒たちも、自分の暮らしを振り返り、「まずは家や学校レベルの“ミニマムな環境問題”を見つけて、そこから調べてみる」という探究の一步を踏み出していた。地球のためと言われて構えなくても、身近な行動を変えることが、確かに地球につながるという考え方を学んだ。

課題設定シート 回答例

例1

- わたしの課題：わたしなら地球のために、家のごみの分別をもっと徹底したい。
- 何を：1週間で出る家庭ごみの量と中身を調べる。
- どのような方法で：実際にごみを記録し、市のホームページでリサイクル方法を調べる。
- 考察：思った以上にプラスチックごみが多く、分別ルールを守れていないところもあった。
- 新たな課題：学校や友だちにも分別の大切さを広める方法を調べたい。

例2

- わたしの課題：わたしなら地域のために、通学時のレジ袋の使用を減らしたい。
- 何を：自分と家族が1か月でどれくらいレジ袋をもらっているか。
- どのような方法で：レシートや袋の数をカウントし、マイバッグ使用時との違いを比べる。
- 考察：ちょっとした買い物でも袋をもらっていて、積み重ねると数が多いと分かった。
- 新たな課題：学校全体でマイバッグ推奨のキャンペーンができるか調べたい。

例3

- わたしの課題：わたしなら地球のために、家庭の食べ残しを減らしたい。
- 何を：一週間の夕食でどれくらい食べ残しや捨てている食材があるか。
- どのような方法で：写真とメモで記録し、家族に理由をインタビューする。
- 考察：買いつぎや作りすぎが多いことが分かり、計画的に買い物していないと感じた。
- 新たな課題：フードロスを減らすレシピや保存方法を調べて家族に提案したい。

例4

- わたしの課題：わたしなら学校のために、教室の電気のムダづかいを減らしたい。
- 何を：休み時間や昼休みに、無人の教室で電気がつけっぱなしになっている回数。
- どのような方法で：1週間、クラスで見回り係を決めて記録する。
- 考察：誰もいないのに電気がついている時間が長く、意識していないことが分かった。

新たな課題：節電ポスターや当番制など、クラスで取り組める仕組みを考えたい。

例 5

- わたしの課題：わたしなら地元の川のために、ポイ捨てごみを減らしたい。
- 何を：近くの川沿いに落ちているごみの種類と量。
どのような方法で：週末に友だちと清掃しながら、ごみの写真と個数を記録する。
- 考察：ペットボトルやお菓子の袋など、身近なごみが多くてショックだった。

新たな課題：地域の清掃ボランティアや市の取り組みについて調べて参加したい。

例 6

- わたしの課題：わたしなら地球のために、水のムダづかいを減らしたい。
- 何を：歯みがきやシャワーのときに、水を流しっぱなしにしている時間。
どのような方法で：タイマーで計って記録し、家族とも比べてみる。
- 考察：自分は短いつもりだったが、実際はけっこう長い時間流していることが分かった。

新たな課題：節水グッズや、水を大切にしている国の取り組みを調べたい。

例 7

- わたしの課題：わたしなら近所の人のために、夜の騒音を減らしたい。
- 何を：自分の家で夜9時以降に出している音（テレビ・ゲーム・楽器など）。
どのような方法で：家族で話し合い、時間帯と音の種類を表にして見える化する。
- 考察：勉強やゲームでつい声が大きくなっていることに気づいた。

新たな課題：アパートや住宅地での生活音マナーについて調べてみたい。

例 8

- わたしの課題：わたしなら地球のために、使い捨てプラスチックを減らしたい。
- 何を：1週間で自分が使ったストロー・スプーン・ラップなどの量。
- どのような方法で：使った分を袋に集めておき、後で種類ごとに数える。
- 考察：コンビニやカフェで何気なくもらっているものが多いと分かった。
- 新たな課題：マイボトルやマイスプーンの利用について、学校の友だちの意識を調べたい。

例 9

- わたしの課題：わたしなら地球のために、通学のCO₂排出を減らしたい。
- 何を：徒歩・自転車・車送迎で通学した場合のCO₂の違い。
どのような方法で：ネットで交通手段ごとのCO₂排出量を調べ、通学距離で計算する。
- 考察：短い距離でも車通学が続くとCO₂が多くなることが分かった。

新たな課題：雨の日以外は自転車にするなど、自分にできる範囲のルールを考えたい。

例 10

- わたしの課題：わたしなら地球のために、紙のムダづかいを減らしたい。
- 何を：学校と家で1週間に使うプリントやメモ用紙の量。
どのような方法で：使った紙を一か所に集めて重さを量り、裏紙の利用率も調べる。
- 考察：裏が白い紙をそのまま捨てていることが多く、もったいないと思った。

新たな課題：ノートやデジタルをうまく活用して、紙使用を減らす方法を探したい。

第8回のまとめ（約400字）

第8回では、第7回で見つけた“身近な環境問題”の課題を、どのように深めていくか、そして実際の行動につなげていくかがテーマだった。番組の生徒たちは、自分の興味や得意なことと環境問題を結びつけながら、「調べること」と「調べる方法」を具体的に決めていく。インターネットだけでなく、市役所の環境担当や地域のボランティア団体に話を聞いたり、実際に清掃活動や節電の取り組みに参加したりする姿が紹介されていた。また、計画どおりにいかないときに、別のアプローチを考え直すことも、探究の大事なポイントとして示されていた。調べた内容をまとめて家族や友人に伝えることで、自分一人だけでなく周りの人の意識も変えていくこと、という視点も印象的だった。環境問題はスケールが大きく一人では変えられないよう感じが、小さな行動でも続けることで、必ずどこかで地球の負担を減らすことにつながる。「自分ごととして考え、調べて、行動する」という探究の流れを、環境というテーマで具体的にイメージできる回だった。

課題設定シート 回答例

例 1.

- ・わたしの課題：わたしなら地球のために、学校の自販機のペットボトルごみを減らしたい。
- ・何を：自販機で飲み物を買う生徒の人数と、ペットボトルの回収状況。
- ・どのような方法で：休み時間ごとに利用者を数え、回収ボックスの中身を観察する。
- ・考察：回収ボックスがいっぱいでも、ラベルやキャップが分別されていないことが多かった。
- ・新たな課題：リサイクルの正しい方法をポスターにして、自販機の横に貼る活動をしたい。

例 2.

- ・わたしの課題：わたしなら地域のために、エコバッグ利用率を上げたい。
- ・何を：近くのスーパーでエコバッグを使っている人の割合。
- ・どのような方法で：時間帯を決めて、出入口でさりげなく観察・カウントする。
- ・考察：思ったよりエコバッグの人は多いが、まだレジ袋の人もかなりいた。
- ・新たな課題：レジ前のポップや学校の掲示板で、エコバッグの効果を分かりやすく伝えたい。

例 3.

- ・わたしの課題：わたしなら地球のために、給食や弁当の食べ残しを減らしたい。
- ・何を：クラスでどれくらい食べ残しが出ているか。
- ・どのような方法で：一週間、食べ残しの量を先生に許可をもらって計測する。
- ・考察：苦手なメニューの日に残量が急に増えることが分かった。
- ・新たな課題：好き嫌いを減らす工夫や、量を調整してもらう方法を調べて、学校に提案したい。

例 4.

- ・わたしの課題：わたしなら地球のために、古着の再利用を広げたい。
- ・何を：自分や友だちが着なくなった服の枚数と、その行き先。
- ・どのような方法で：友だちにアンケートをとり、リサイクルショップや回収ボックスについても調べる。
- ・考察：まだ着られるのに捨てている服が多く、もったいないと感じた。
- ・新たな課題：クラス内で「古着交換会」や寄付をする仕組みを考えたい。

例 5.

- わたしの課題：わたしなら地球のために、災害時にも役立つエコな暮らし方を知りたい。
- 何を：停電時にも使える省エネグッズや、非常用のエコな調理方法。
- どのような方法で：防災サイトや市役所、防災イベントなどで情報を集める。
- 考察：省エネの工夫は、普段の生活だけでなく災害時の備えにもつながると分かった。
- 新たな課題：家庭で実際に試せる「エコ防災」のチェックリストを作りたい。

例 6.

- わたしの課題：わたしなら地球のために、学校のパソコンやタブレットの節電をしたい。
- 何を：授業後に電源が入ったままの端末の数。
- どのような方法で：情報の先生に協力してもらい、放課後に教室や PC 室を見て回る。
- 考察：ログインしっぱなしの端末が多く、誰も気にしていないことが分かった。
- 新たな課題：授業の最後に「電源オフ確認タイム」を入れてもらえるように提案したい。

例 7.

- わたしの課題：わたしなら地球のために、地域のごみ拾いボランティアに参加したい。
- 何を：自分の住んでいる地域で行われている清掃活動の種類と頻度。
- どのような方法で：市役所や自治会の広報で情報を集め、直接電話で聞いてみる。
- 考察：意外と多くの清掃イベントがあるのに、若い世代の参加が少ないと分かった。
- 新たな課題：友だちを誘って実際に参加し、SNS などで活動の様子を発信したい。

例 8.

- わたしの課題：わたしなら地球のために、コンビニでのフードロスを減らす仕組みを知りたい。
- 何を：コンビニの廃棄食品がどのように処理されているか。
- どのような方法で：店長さんにインタビューできるか交渉し、許可がもらえれば話を聞く。
- 考察：賞味期限の関係で、まだ食べられるのに捨てざるをえない食品が多いと分かった。
- 新たな課題：値引き販売やフードバンクへの提供などの仕組みについて、さらに調べたい。

例 9.

- わたしの課題：わたしなら地球のために、身近な人に環境問題を分かりやすく伝えたい。
- 何を：同年代の人が関心を持ちやすい環境テーマと伝え方。
- どのような方法で：クラスで簡単なアンケートを取り、興味のあるテーマや SNS の利用状況を調べる。
- 考察：難しい話より、自分の生活に関係する話だと聞いてもらいやすいと分かった。
- 新たな課題：4 コマ漫画やショート動画など、身近な形で環境メッセージを発信する方法を考えたい。

例 10.

- わたしの課題：わたしなら地球のために、季節ごとの電気の使い方を見直したい。
- 何を：夏と冬でエアコンや暖房をどれくらい使っているか。
- どのような方法で：電気料金の明細を家族に見せてもらい、月ごとの使用量をグラフにする。
- 考察：体感だけでなく、数字で見るとエアコンの影響がかなり大きいことが分かった。
- 新たな課題：温度設定の工夫や服装での調整など、無理なくできる節電方法を調べたい。